



たまな市

～たまな市議会だより～



令和2年
9月定例会
令和2年11月1日発行
NO.60

表紙イラスト:「みかん農家」 玉名女子高等学校 アニメデザインコース 3年

まつなが いろ は
松永 衣楼華 さん

令和2年 第6回定例会 議案の審議結果

全会一致で承認、可決、同意した議案

議番号	議 案 名
議第75号	専決処分事項の承認について 専決第11号 令和2年度玉名市一般会計補正予算(第6号)
議第85号	令和2年度玉名市一般会計補正予算(第7号)
議第86号	令和2年度玉名市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議第87号	令和2年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議第88号	令和2年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第2号)
議第89号	令和2年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)
議第90号	玉名市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第91号	玉名市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議第92号	玉名市スポーツ事故見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について
議第93号	教育委員会委員の任命について
議第94号	公平委員会委員の選任について
議第95号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第96号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第97号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第98号	令和2年度玉名市一般会計補正予算(第8号)
議第99号	工事請負契約の締結について
議第100号	財産の取得について
議第101号	令和2年度玉名市一般会計補正予算(第9号)
議員提出第2号	決算特別委員会の設置について
意見書案第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
意見書案第3号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出について
意見書案第4号	教職員定数の改善並びに義務教育及び新型コロナウイルス感染症対応に係る確実な財源保障等に関する意見書の提出について

請願・陳情 審議結果

	件 名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請 第 1 号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出に関する請願	総務委員会	採 択 (賛成多数)	採 択 (全会一致)
請 第 2 号	教職員定数の改善並びに義務教育及び新型コロナウイルス感染症対応に係る確実な財源保障を図るための2021年度政府予算に係る意見書の提出に関する請願	文教厚生委員会	採 択 (全員一致)	採 択 (全会一致)
陳 第 2 号	三蔵川樋門に排水ポンプの設置を求める陳情	建設経済委員会	採 択 (全員一致)	採 択 (全会一致)

人 事

(敬称略)					
★教育委員会委員の任命	よしむら やすこ 吉村 泰子				
★公平委員会委員の選任	いたくら えいいち 板倉 英一				
★固定資産評価審査委員会委員の選任	ひらかわ ゆ み こ 平川 優美子	はじめ ひろこ 一 廣子	みやもと しんいち 宮本 伸一		

決算特別委員会の構成委員

令和2年9月1日 選任					
委 員 長	松本 憲二	副委員長	赤松 英康		
委 員	坂本 公司	吉田真樹子	一瀬 重隆	北本 将幸	徳村登志郎
	西川 裕文	前田 正治	田畑 久吉		

令和2年度 一般会計補正予算

補正額 **11億8,960万円**

総 額 **414億1,777万円**

9月議会で決まった 主な事業

対象店舗で1,500円以上購入者に
クーポン券500円を1枚配布
(市独自の経済対策の追加)



ふあーまーず・マーケット“応援の輪”事業
1,772万円

7月の豪雨被害により、災害救助法の適用となった
住宅修理や、壊れた農業用施設、道路、河川等の復旧費



土砂が崩れた林道小岱山線



箱谷月田線の路肩が崩壊



土砂が崩れ橋に覆いかぶさった林道石尾線石尾小代橋

7月豪雨被害に係る 災害救助費 **240万円** 災害復旧費 **1億753万円**

令和2年 第6回定例会(9月)

令和2年第6回定例会は、当初9月1日から9月25日までを会期としていたが、市内で新型コロナウイルス感染が発生し会期を4日間延期し29日までとした。

市長提出議案は、令和2年度一般会計補正予算、条例制定、人事案件など18議案すべてを可決、承認、同意した。

補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症対策や7月豪雨被害にかかる災害復旧費などであった。

また、令和元年度決算議案9件は、決算特別委員会へ付託し継続審査となり10月21日から23日までに開催。

高齢者のインフルエンザ予防接種を
無料化



高齢者インフルエンザ予防接種助成事業
3,611万円

討論 私はどう考える!!

請第1号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出に関する請願に賛成

原案賛成

前田 正治

広島や長崎の原爆を受け、今も被爆の苦しみと闘っている人がいる。核兵器の惨事を三度繰り返さないことは、日本国民だけでなく全世界共通の悲願である。昭和60年に本議会で決議した宣言「本市は非核地域である」を継承していくうえでも、日本政府に核兵器禁止条約の批准※を求めて意見書を提出することに賛同する。

※批准…条約に対して、国が行なう最終的な確認や同意のこと

議会の取り組み

9月定例会



一般質問 画像でより詳しい説明を

一般質問は、市政に関して議員が質問を行ない、意見や要望を述べ市政をより良い方向へ導くものです。

そこで今回から、議場内にプロジェクターを設置し写真等を映し出すことで、より詳しい説明ができるようになりました。

また、現場写真を共有することで、執行部の具体的なかつスピーディーな対応や取り組みにつなげることができます。



一般質問で、現場写真を映して執行部に説明をする様子



視察研修費用をコロナ対策に

市独自の対策事業を支援する取り組み

新型コロナウイルス感染症対策として、市民が一刻も早く安心安全な暮らしを取り戻し、経済が上向きになるような市独自の支援策の取り組みが行なわれています。

そこで市議会では、『議会費を減額し、それを経済対策の一助として市独自の対策に活用する』申し入れを市長に行ないました。減額内容は次のとおりです。

■令和2年度の行政視察旅費 556万円
(常任委員会・議会運営委員会・特別委員会)



議会から市長に「申し入れ書」を提出



災害救助法の適用を受けた市への災害見舞金5万円が交付

～九州市議会議長会から～

九州市議会議長会から、令和2年7月豪雨により災害救助法の適用となった市へ、被災された方へのお見舞金として5万円が交付されました。

そこで本市議会は、早期の災害復旧に役立てていただくよう玉名市へ贈呈した。一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

玉名市議会議員一同



議案審議をタブレット端末で実施

電子会議システムの導入

議会運営の効率化の取り組み

市議会では、タブレット端末を使用した「電子会議システム」および連絡ツールとしてのSNSアプリを導入しました。

今回の導入は、議会改革推進特別委員会を中心に検討を重ね、8月には全議員で操作研修を実施し、9月定例会から運用を開始しました。導入により次のような効果が見込まれます。

- 膨大な議会資料のペーパーレス化
- 文書のデータ保存が可能で、文書管理の効率化・議会運営の活性化に繋がる
- SNSを利用した情報伝達により、迅速な災害状況確認や対応ができる
- 必要な情報を市民へその場で提供することができ、議員活動をより一層活性化できる



開会日 議案等をタブレットにて閲覧中



タブレットを使用した議会だよりの編集会議



議場に飛沫防止ガード設置

新型コロナウイルス感染症防止の取り組み

9月定例会では、新型コロナウイルス感染症防止対策として、議員席、執行部席にアクリル板の飛沫防止ガードを設置しました。6月定例会では、採決を除き議員の入場を分割し運営しましたが、今回は全議員出席で臨みました。



議場内に設置されたアクリル板



ここが聞きたい

一般質問

今期定例会の一般質問は
9月9日(水)、10日(木)、25日(金)
の3日間。コロナ対策で、質
問時間を通常の半分(30分)
に短縮して実施。

QRコードで録画映像
をご覧ください



古奥 俊男 議員
(新生クラブ)

質問 安定した財源確保に繋がる、新
玉名駅を核とした整備計画を！

新玉名駅を核(コア)とした整備計画を
し、企業や住民の期待に応えることが人口
減少を抑制する。それが税収増加となり、
20年30年先の安定した市の財源確保に繋
がるのでは。地元からも開発促進を要望す
る声が上がっており、具体的な進捗状況を
伺う。

建設部長 整備方針に沿って、インフラ整備、
文化財確認調査、用途地域の指定
検討を進める

進捗状況については、まず8月に策定し
た新玉名駅周辺整備方針に記載している
「優先的に整備する範囲」の一部区画道路
について、測量設計等に係る費用を補正予
算として議会に提案している。次に昨年度
より実施している埋蔵文化財確認調査につ



▲新玉名駅周辺

いて、今年度も行なうよう準備を進めてい
る。最後に駅周辺地域が無秩序な開発とな
らないよう、駅・病院・学校
を含めた計画的なまちづくり
を進めるため、用途地域指定
を検討している。 QRコード▶



その他の質問

- 防災減災
- 産業用地
- 教育課程



近松 恵美子 議員
(新生クラブ)

質問 学童クラブとの連携を密に！

学童クラブの協力を得て、宿題に関する
調査をしたところ、「基礎学力に問題があ
る」との不安を持つ声があった。新型コロナ
による休校の影響もあると思うが実態は
どうか。保護者の代弁とも言える学童ク
ラブとの連携を密にし、対策を考えてはどうか。

教育長 学童クラブと学校が、宿題や授業
中の様子について情報交換を行な
う等連携を図る

休校が3カ月続いたことによる一番の影
響は、児童生徒の生活リズムや学習リズム
が崩れたことである。リズムを取り戻し、
学力の定着を図っていく必要がある。子
どもたちに確かな学力をつけるためにも、学
校と学童クラブが、授業中の様子や宿題の
内容・量、やり方などについて、情報交換



▲学童クラブでの活動風景

する機会をもつことで効果が上がる。既に、
情報交換会を行なっている例もある。教育
委員会として、関係部局とも
連携し、情報を共有する機会
の必要性について働きかけて
いく。 QRコード▶



その他の質問

- ウイズコロナ時代の
保健教育



委員会報告

総務

令和2年9月15日開催

議会の行政視察旅費を減額

報告 常任委員会及び特別委員会の行政視察旅費556万円を、コロナ感染防止、経済対策の一助として減額。

玉名中学校体育館建設工事決まる

報告 鉄骨造2階建ての屋内運動場を建設。市内の建設業者との工事契約締結。

小中学生にタブレットの導入へ

報告 小中学校の児童生徒と教職員が使用するタブレット機器類を県内業者と契約締結。

地方創生臨時交付金の活用

報告 国の地方創生臨時交付金(コロナ対策資金)が9月30日現在で約9億8,000万円交付。本市では、約10億円以上をコロナ対策として予算化。

建設経済

令和2年9月16日開催

地滑り調査は地盤沈下も含むのが

質問 道路橋りょう災害復旧費の地滑りに対する
委託料に関連して、地滑り調査のほか
地盤沈下の調査まで行なうべきではないか。

答え 地滑りの専門業者が調査に入っており、
地盤沈下も含めて調査を行なっている。

**ふあーまーず・マーケット“応援の輪事業”
配布クーポンの利用状況は**

質問 これまでに配布したクーポン券の利用状
況と使用されなかった場合の対応は。

答え クーポン券の利用は、9月22日時点で6,562枚が使用されている。これは、利用者へ配布された枚数の38.6%にあたる。またクーポンは2月末を利用期限としており、その時点で未使用の場合は、予算の執行残となる。



▲地滑りにより歩道が破損した部分

高齢者の予防接種、助成の拡充を！

質問 高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化について、対象者への周知方法は。

答え 本事業は、重症化しやすい高齢者に対し、インフルエンザ予防接種の自己負担分を無料化するもの。助成対象者への周知は、広報たまなへの掲載、介護予防事業等の場や医療機関を通して行なう。

指定管理委託料増額の要因は

質問 指定管理業務委託料が追加になっているが、
新型コロナの影響によるものが。

答え 岱明中央公園等の指定管理施設に対し、
新型コロナ感染防止のため約3カ月間の
休館要請を行なった。それにより生じた
施設の収入減額分と休館による必要経費
の差額を補てんするものである。



▲指定管理で運営する岱明中央公園

質問 特別定額給付金は高い給付率となったが、未申請者の状況を伺う

開会日の市長あいさつでもふれられた、特別定額給付金の給付率は99.84%であった。これは日頃から地域コミュニティを大切に、見守り活動をされる区長や民生委員の方々の協力の結果でもある。今回約100名の方が給付に至っていない理由を伺う。

総務部長 28,147世帯のうち、91世帯、102名の方が未申請という結果であった

結果として未申請となった91世帯の具体的な内訳は、単身世帯で死亡により申請がなされなかった世帯が29世帯、失踪など居所が不明であった世帯が28世帯、給付金の給付を希望しない世帯が15世帯、再三周知を行なったが申請がなく、理由が



▲市役所ロビーでの窓口相談

不明であった世帯が19世帯となった。なお、給付を希望しない世帯の理由としては、「医療に使ってほしい」、「生活に不自由していない」などの理由であった。

QRコード▶



その他の質問

- 7月豪雨の災害支援ボランティア
- 新型コロナウイルスの地元経済への影響



質問 環境問題に着目！ごみの減量化と再資源化及び機密文書の処理状況を伺う

7月からレジ袋の有料化が開始されたが、本市のごみの減量化、再資源化の課題と取り組みを伺う。また機密文書の廃棄方法において、他市の状況もあわせて伺う。今後、焼却処理量の削減は、施設補修費用（10年間で約30億円）の抑制にも繋がるのでは。

市民生活部長 分別の周知徹底等により分別収集精度を上げ、ごみの減量化と再資源化を進める

市内のごみ処理量は、横ばい状態が続いており、引き続きごみ出しカレンダーにより分別の徹底を周知する。また、生ごみ処理機の補助、食品ロスやプラスチックごみの削減啓発などごみの減量化に取り組んでいく。



▲文書が入った箱が溶解処理される様子

総務部長 文書の廃棄処理は、情報漏えい防止の観点から、焼却処理又はシュレッダーによる裁断処理を行なっている。他市の状況は、溶解処理が8市、焼却処理が4市、粉碎処理が1市となっている。

QRコード▶



その他の質問

- 小中学校の特別支援教育の教員及び補助員の配置



質問 南北を貫く道路の必要性。災害を見据えた都市計画道路の検討を！

本市には、沿岸部から内陸へ向かう南北を貫く道路が必要である。都市計画にあるループ橋から玉名バイパス山田神社入口へ続くルートは、避難経路、救助活動、復旧復興、更には境川の洪水対策にも寄与する。7月豪雨災害を念頭に、災害を見据えた都市計画道路の検討をお願いしたい。

建設部長 岱明玉名線開通後の都市計画道路は、災害等様々な観点で、見直し再検証を図る

来年度から都市計画道路の見直し予定である。対象となる路線には、都市計画決定から70年を経過した未整備路線も含まれる。国の基本方針は「社会情勢を踏まえ適時適切な見直しを行ない、都市の再構築の取り組みを再検証する」とあり、市も財政等に



→ 令和2年度開通予定の岱明玉名線
→ 今後検討いただきたい南北を貫く道路
留意し必要性が高い路線に「選択と集中」を図る。境川左岸の道路も計画見直しの際に、災害時の避難・救援道路も念頭に検討したい。

QRコード▶



その他の質問

- 令和2年7月豪雨
- コロナ後の公共施設とまちづくり



質問 長きにわたり地方創生のもと歩んできた観光施設の民営化計画は、見直すべきでは！

市は草枕温泉でんすいやふるさとセンター・BOXを譲渡・売却する一方、市の計画である新幹線駅前周辺の「道の駅的交流施設」の誘致は進んでいない。雇用崩壊による人口減少や、農産物販売網縮小を要因とする農業担い手不足は、地方創生に逆行する。民営化計画は、見直す必要があるのでは。

市長 民営化ありきではなく、更により良い施設として持続させていきたい

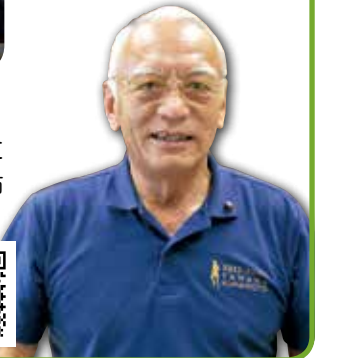
今回の民営化計画については、民営化ありきではなく、今後住民説明会や関係者との協議・検討を重ねていき、その結果が、民営化、もしくは現行の指定管理者制度、



▲草枕温泉でんすい

または全く新しい制度の下での運営管理になるということであり、利用される方や市民の皆さまに愛されている施設を、更により良いものとして持続させていきたい。

QRコード▶



質問 新しい生活様式の定着に向けた具体的施策を伺う
～自律的な地域社会を目指して～

①コロナ禍で多くのイベント中止、施設利用制限が続いた。今後、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援、図書館専用アプリの導入について伺う。②これから建設予定の岱明町公民館には、コロナ対策の十分な取り組みが必要と考えるが市の見解は。

教育部長 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら活動継続に向けた取り組みを行なう

①音楽祭や文化祭は無観客かソーシャルディスタンスを確保し、今後動画配信等も検討する。スポーツ活動は、近隣の4市4町と連絡体制を構築し、大会・行事の開催が出来るよう、環境の整備を進めていく。図書館専用アプリの導入は調査・研究して



▲コロナ禍の中利用制限されている市の図書館

いく。②建設予定の岱明町公民館は、防災拠点と避難所機能を併せ持つ施設であることから、新しい生活様式に十分配慮した設備や機能を取り入れた施設として建設する。

QRコード▶



その他の質問

- 新型コロナウイルスの第2波に備えた対策

質問 八嘉小学校の通学路の危険箇所、樹木問題を含め市全域の通学路の安全管理を伺う

市の未来である子どもたちの命を守るため、通学路の安全対策はされているのか。毎年、樹木処分問題を抱えられている八嘉小学校に対しても、度々繰り返されないような根本的な取り組みを構築できないか。

教育部長 「通学路交通安全プログラム」により、必要に応じて安全対策を実施している

通学路の安全対策については、小中学校において点検を行なっている。また本市では、通学路の安全確保に向けた取り組みを行なうため「玉名市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が連携して合同点検を行ない、必要に応じて安全対策を実



▲八嘉小通学路にある崩落箇所

施している。今後も、この取り組みにより通学路の安全確保を図っていく。八嘉小学校の樹木処分については、学校関係者の負担軽減となるよう今後検討していく。

QRコード▶



その他の質問

- 公共施設(伊倉ふれあいセンター・岱明ふれあい健康センター)

質問 災害時における情報発信、情報収集体制の強化を！

近年は、想定を超える大災害が多発している。災害時に重要となるのが情報だが、7月の豪雨時には、市HPが閲覧不能になる事態が発生した。今後は、SNSなどを活用して様々な情報発信・収集体制基盤の強化に取り組む必要があると思うが見解を伺う。

企画経営部長 災害には情報発信媒体の複数化が有効。将来的にはSNSでの情報収集体制を構築

今回の件を受け、有事の際に緊急臨時サイトに対応する体制を整備し、市公式LINEも開設。今後はネットワークの冗長化・強化に加え、SNSの普及促進による防災・減災情報の発信や非常時における情報のリアルタイム発信等の機能発揮に期待。



▲玉名市公式LINEからの情報提供

総務部長 情報発信については、防災行政無線をはじめ玉名市安心メール等、多様な手段で発信している。今後はさらに多くの市民に災害情報等を発信できるよう、防災アプリ等の新しいツールも検討していきたい。

QRコード▶



その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策



質問 旧庁舎跡地を活かす！大河ドラマ館使用後の総合的開発構想はできているのか

旧庁舎跡地は、市の中心に位置している。過去の跡地周辺は、活気があり市の発展と活性化の中心的役割を果たしていたが、最近では周辺の衰退が目立つ。現在第1保育所仮園舎として利用中だが、今後は跡地を活かす全体的構想を一刻も早く企画し、市の発展に繋げてほしい。

企画経営部長 官民連携事業で公共サービスの提供と市民の憩い、人が集う空間を目指す

旧庁舎跡地の構想については、第1保育所の建て替え、旧庁舎跡地活用、文化センター施設整備を一体的に検討する必要がある、市民サービスの更なる向上を考えた機能の見直し、施設エリアの連携等も含め検討を進めている。



▲現在、第1保育所仮園舎がある旧庁舎跡地周辺

そして、これらの公共的機能に加えて、市民の憩い、そして人が集う、賑わいを創出する民間施設も視野に入れ、官民連携して公共サービスの提供を行なっていきたいと考えている。

QRコード▶



その他の質問

- 公共工事の発注の在り方



質問 インフルエンザと新型コロナの同時流行の防止対策を

3月に県内初の新型コロナウイルス感染が確認。その後有明保健所管内でも、一日で最大のクラスターが発生。今後、インフルエンザとの同時流行を防ぐため、高齢者の予防接種に関する対応及び長期化する新型コロナ感染対策の専用窓口設置について伺う。

健康福祉部長 感染症から高齢者の命を守るため予防接種を受けやすい環境を整える

新型コロナウイルスが重症化しやすい65歳以上の方に対して、インフルエンザ予防接種費用の無償化を図り、接種を受けやすい環境を整えることで医療現場や患者の混乱を回避するため、本定例会に追加の補正予算を提案した。



市長 対策会議等で庁内横断的に進めているが、長期化する中、市民の利便性も考え、専門の窓口を設置する等、より効果的な対応を慎重に検討していく。

QRコード▶



その他の質問

- 令和2年7月豪雨の概要と今後の対策



質問 ふるさとセンターY・BOXの運営状況（交際費使用）を伺う

施設を運営する有限会社横島町特産物振興協会の運営状況説明では、年間100万円近くの交際費が支出されていた。他市では、スナックなどの飲食や運転代行などに使われていたなどの問題が発生。こういった可能性はないと思うが、市長の見解を伺う。

市長 今後の販売促進のため、商工業団体との会合などの費用として支出

交際費は、ふるさとセンターY・BOXの販売促進に要する予算として運営者に委ねている。支出の内容は、今後の販売促進のため、商工業団体との会合などの費用として支出したものと報告を受けているが、これまで横島町特産物振興協会の総会においても、役員から金額を削減するようにと



▲ふるさとセンターY・BOX

の発言もあり、引き続き運営者側へは適正な支出に努めるよう指導を行なう。

QRコード▶



その他の質問

- 市長のトップセールス



質問 豪雨災害時の緊急出動に備え、浸水地区消防団格納庫に救助ゴムボートの配備を！

今年の7月豪雨で、玉名消防署に配備の救命ボートが、県南の災害地で救助活動に使用されており、本市の冠水地で人命救助が出来なかった。今後、孤立者の救助に備え、浸水地区消防団格納庫へ救命ゴムボートの装備拡充が必要である。市の見解を伺う。

総務部長 救助用ゴムボートについては、補助金を活用して、今年度購入予定

玉名消防署に配備の救助用ボートは、県南の被災地への応援出動で、玉名での豪雨の際には、帰着していなかったと聞いている。浸水被害が発生した地域での一般救急要請については、通行可能な陸路により医療機関へ無事搬送されている。消防団の救



▲消防団による船での救助活動

助用ゴムボートについては、補助金を活用し、今年度購入を予定している。今後も、大規模な災害に備え、消防団救助用資機材については、有利な財源を活用し、拡充を図っていきたい。

QRコード▶



その他の質問

- 本市の個人情報の管理



質問 新型コロナとの同時流行期に備え、インフルエンザ予防接種費用の助成拡充を！

インフルエンザ予防接種費用の助成を全世代に拡充してはどうか。接種率を上げることで、新型コロナと症状が似ているインフルエンザ感染を抑制できる。また同時流行期における医療現場の負担軽減や医療崩壊の防止に効果がある。

健康福祉部長 感染症が重症化しやすい高齢者のインフルエンザ予防接種費用の無償化を図る

この冬の新型コロナとインフルエンザの同時流行への備えとして、新型コロナ感染症が重症化しやすい65歳以上の方と、60歳以上65歳未満の心臓や腎臓病等の疾患で日常生活に制限のある方に対して、インフルエンザ予防接種費用の無償化を図り、



接種を受けやすい環境を整えることで医療現場や患者の混乱を回避する。他の年齢の助成拡充については、今後の感染状況を注視しながら検討していく。

QRコード▶



その他の質問

- 住環境の向上



7月臨時会

追加補正額
6億7,803万円

7月17日（金）に臨時会を開き、新型コロナウイルス感染症対策経費及び国の2次補正に関連した取り組みに対応する。6億7,803万円を追加補正し、総額401億1,822万円とする令和2年度一般会計補正予算を可決した。

主な事業内容

◇全ての児童・生徒に1人1台学習用タブレットを導入 （臨時休校時に家庭で利用できるwi-fi通信環境整備含む）

■情報教育推進事業 5億4,522万円

◇本市独自の支援策（第4弾）展開

～新型コロナウイルス感染症対策～

■地域応援商品券事業 1億464万円

市内事業所で利用できる商品券

■放課後児童クラブ及び
民間保育園等従事者応援補助金 1,300万円
従事者1名に2万円の補助金

■生活困窮者自立支援事業 114万円

◇その他 市民会館に遠赤外線カメラ設置

■市民会館指定管理委託料 55万円



▲市民会館入口に体温を測る遠赤外線カメラを設置

12月定例会の予定

11月 24日(火) 議会運営委員会	12月 14日(月) 一般質問（予備日）
12月 1日(火) 開会	15日(火) 総務委員会
9日(水) 一般質問	16日(水) 建設経済委員会
10日(木) 一般質問	17日(木) 文教厚生委員会
11日(金) 一般質問	23日(水) 閉会

※都合により変更になることがあります。

編集後記

パラダイムシフト（思考や概念、規範や価値観が変わること）となる時代を生きていることを貴重だと感じております。大変な時代となりましたが、これは字のごとく“大きく変わる時”と前向きに受け止めるべきだと考えます。地球を守るため、そして人類がこの先も生き続けるための見通しの時なのか。いずれにしても生活様式もすでに変わってきています。Withコロナを受け入れ、皆さん共に考え行動していきましょう！もちろん玉名市の更なる発展のために。

委員 吉田真樹子

表紙のイラスト



玉名女子高等学校
まつなが いろう は
松永 衣樓華 さん
学生の頃みかん畑に行った時
に出会った、笑顔がチャームン
グな優しいおばあさんを思い浮か
べながら描きました。

議会広報広聴特別委員会

（委員長）北本 将幸 （副委員長）赤松 英康
（委員）坂本 公司 吉田真樹子
古奥 俊男 松本 憲二
徳村登志郎 嶋村 徹

☆ホームページのアクセスは、検索画面で **玉名市議会** **検索** を入力してクリック!



玉名市議会だより
NO.60

発行日／令和2年11月1日発行
編集／議会広報広聴特別委員会

発行／玉名市議会

「玉名市議会だより60号」の印刷部数は26,000部。
0968-75-1155